

平成26年度 スクラム(学校間連携)委員会 年間分掌マネジメント

岩美町立岩美中学校

スクラム教育の目標 小1プロブレムや中1ギャップなど異校種間で子どもの「育ちや学び」がとぎれないよう、縦(校種間)や横(家庭・地域)の連携を大切に、めざす子ども像の実現に向けた教育を推進する。

スクラム教育のテーマ めざす子ども像「自立する子」「人とのつながりを大切にする子」「岩美町を好きになる子」の達成

スクラム教育 重点努力目標 (1)脳科学に基づいた発達段階を考慮に入れた保育・教育活動を創造する。
(2)校種間を越えた重複的連続性と校種間連携による学習(遊び)を創造する。
(3)スクラム教育の取組について、保護者や地域に向けて情報発信を行い、協働する。

保育士・教職員スローガン 一人ひとりが、スクラム教育に「参画」、「協働」し、よりよい教育環境を共に築きあげよう

めざす子ども像	目指す児童・生徒の姿	重点目標(Plan)	活動に向けての努力事項・主な活動(Do)	到達目標	評価基準(Check)	成果と課題・提言(Action)		
自立する子	生活習慣の確立	「確かな学力」の基盤となる望ましい基本的生活習慣を身につけている。	早寝早起き朝ごはんの定着を図る。 チャレンジデーを実施する。(毎月第2・第4水曜日)	早寝早起き朝ごはんの意義や6・12月のアンケート結果を保護者に伝え、啓発活動を行う。(保小中) 各校、各所で保護者へチャレンジデーの意義を伝え、啓発活動を行う。(保小中)	望ましい生活習慣を身につけ、精神的自立の基礎と学習に向かう身体をつくる。 望ましい生活習慣を身につけ、精神的自立の基礎と学習に向かう身体をつくる。	毎月スクラム教育通信を発行する。PTA、保護者関係への説明をデータを使って年3回実施する。 チャレンジデー実施率85%以上(生徒への聞き取り)	アンケート実施は6月12月。町教委報告。夜の歯磨きなども継続して実施していただく。 第2水曜日の実施についてはNOTVDAYレポートを実施、第4水曜日の実施率は簡易アンケートを実施する。	
		学び続ける子	目標を持って学び(遊び)、校種間ギャップを克服する。	学び続ける姿勢の基礎作りを行う。 自ら学習する習慣を身につける。 校種間連携によって段差を軽減する。 18年間を見通したカリキュラムの実施	スキルタイムで、いろはカルタや百人一首、音読集などを活用した音読や暗唱、脳科学の知見に基づいた計算などを実施する。(小中) 本時目標を達成するための授業仮説を設定する。(保小中) 自主学習に取り組むよう指導する。 小中・中高連携の年間計画を作成し、実施する。 H27年度の計画作成のための資料を作成する。 保育・授業改善に向けた共通実践事項にたがって実践する。 シラバスを活用しながら、出前授業や合同授業などの連携に視点を当てた授業を実施する。 接続カリキュラムの実践、及び第4次案を作成する。(保小中高)	脳科学の知見に基づいたウォーミングアップタイムの実施によって記憶力や集中力が高まる。 授業改善によって、子どもが主体的に学習が進められる。 自分から学習する習慣を身につける。 連携によって、校種間のギャップが軽減する。 校種間連携を計画的に実践する。 発達段階に応じた学習規律を身につける。 系統性が考慮された授業展開によって、校種間のギャップが軽減する。 接続カリキュラムによって、校種間のギャップが軽減する。	ウォーミングタイム200回以上実施。国語以外の教科から1教科以上の音読教材を選び、1回以上実施する。 脳科学の知見に基づいたスキルタイムの運営をされていたか 肯定的評価80%以上(学校ごとに担任教師へのアンケート 年2回) 授業公開がされる指導案に授業仮説を取り入れ、一人2研究授業を実施する。 自主学習ノート展を1回実施する。 年間指導計画を作成し、実施する。(小中、中高) H26年度の月行事をデータ化し、来年度の基礎資料を作成する。 学習ルールを身につけたと自己評価している生徒85% 各教科で出前授業など連携を視点にあてた授業を1回以上実施する。(小中) 接続カリキュラムの第4次案を発行する。	学校評価の教職員アンケート(年2回 7月・12月)を活用 文化祭で実施する。 H26年度4月にH25年度作成成分を配付し、活用する。 学習指導部と連携し、生徒質問紙を活用する。 体験入学の出前授業も含めて一人2研究授業と扱うことができる。
	人とのつながりを大切にする子		自尊感情を高めるとともに他者理解を深め、コミュニケーション力を身につける。	人間関係作りの基礎である、話す姿勢、聞く姿勢の育成をする。 校種間連携により児童・生徒の心理的不安の軽減を行う。	自分の意見を順序立てて話すよう指導する。 話す友達の方を向いて、自分の意見との相違点を注意深く聴くように指導する。(保) 6年3校合同学習を見学し、6年生の実態を知る。 小6年生対象中学校1日体験入学を実施する。 岩美高教員による出前授業を行う。 岩美中と岩美高で生徒会と協力して愛郷活動を企画、実施する。	自分の意見を順序立てて話し、相手を説得できる。 自分の意見との相違点を注意深く聴くことができる。 自尊感情を高め、コミュニケーション力を育てる活動を経験することで、児童生徒のつながりが強くなる。	自分の意見を持ち、相手を説得できるように指導を行った教師80%以上 自分の意見との相違点を注意深く聴くように指導を行った教師80%以上 3校合同学習に参観した教員のべ10名以上。 中学校に入学するのが楽しみになったと答えた児童が85% 英語、数学1時間ずつの出前授業を実施する。 中高での愛郷活動を年1回以上実施する。(中・高)	教職員質問紙(6月、12月)を活用する。 実施については、推進委員(教務主任)、6年担任を中心に進める。担当校は1学期岩美北、2学期岩美西 体験入学前後でアンケートをとる。 夏休みまたは3学期での補習時間で実施。
			岩美町を好きになる子	地域の人や自然と親しむ 地域教材の実践 地域貢献	「ふるさと先生とともに」、「職場体験学習」などを実施することにより、たくさんの地域の方と出会い、将来への夢を持つことができる。 地域に密着した題材を扱った授業を行う。 地域行事(各地区運動会、ボランティア活動、町教委・公民館・自治会主催行事)への積極的参加を促す。	計画的に地域の方と交流を行う。 地域のおよそを知り、地域の一員として働かせることができる。 生徒が地域の行事やボランティア活動へ積極的に参加することができる。	将来、好きな授業に付けるように勉強したい生徒90%以上 夢や将来つきたい職業がある生徒80%以上 地域を題材にした授業を各教科1時間以上実施する。 地域の行事や活動に年1回以上参加した生徒70%以上(中・高)	生徒質問紙調査(6月、12月)を活用する。 教科マネジメントに単元名、あるいは題材名を明記する。